



DVIKVM Extra Long Range Extender

DVIKVM 延長機

型番 : GTB-DVIKVM-ELR-BLK

取扱説明書



■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- ・AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・万一、落したり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。



修理品発送時のお願い

本製品には、送信機と受信機に同一のシリアルナンバーが割り振られております。万が一、不具合が発生し修理の依頼などを行う際には、本体裏面に記載されているシリアルナンバーをご確認いただき、シリアルナンバーを揃えた状態で、

送信機と受信機の両方をご発送いただきますようお願いいたします。



シリアルナンバー表示例

■目次

■安全上のご注意	2	・DIPスイッチ1:パワーマネージメント	5
■目次	3	・DIPスイッチ2:RS-232モード	5
■はじめに	3	●受信機側のDIPスイッチ	6
■主な特長	3	・DIPスイッチ1:EDIDモード	6
■梱包内容の確認	3	・DIPスイッチ2:ホットプラグ検出	6
■各部の名称と機能	4	・DIPスイッチ3:DVI接続モード	6
●送信機	4	・DIPスイッチ4:RS-232モード	6
●受信機	4	■ファームウェアアップデート	6
■機器の設置	5	■ケーブルファイリング	7
■DIPスイッチの設定	5	■壁面取り付け方法	7
●送信機側のDIPスイッチ	5	■仕様	8

■はじめに

この度は Gefen、GTB-DVIKVM-ELR をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、使用方法をご理解の上、正しくご使用ください。

GTB-DVIKVM-ELR は、シールドタイプ (STP) の CAT5e または CAT6 ケーブルを使用して DVI、USB2.0、RS-232 信号およびイーサネット通信を最大 100m まで延長する DVIKVM 延長機です。

■主な特長

- ・最大 1920 × 1200@60Hz、1080p@60Hz の解像度に対応
- ・USB2.0 は 480Mbps をサポート
- ・USB1.1 にも対応
- ・イーサネットは 10/100BaseT をサポート
- ・壁面取付可能

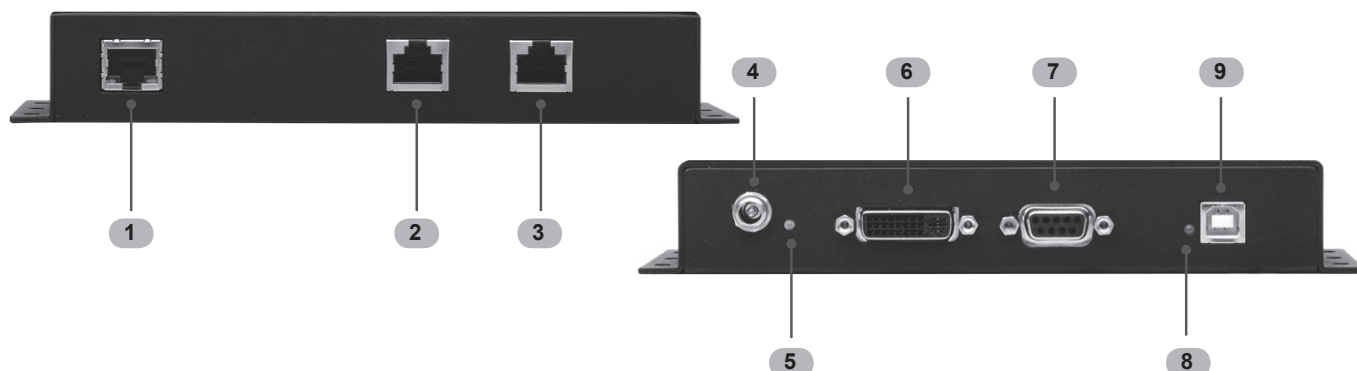
■梱包内容の確認

- ・本体 (送信機、受信機)
- ・DVI ケーブル (1.8m、オス - オス) × 1
- ・USB ケーブル (1.8m、A-B) × 1
- ・電源アダプター × 2

万一足りないものがありましたら、購入された販売店までご連絡ください。

■各部の名称と機能

●送信機



① USB リンク端子

受信機の USB リンク端子を接続します。

② DVI/RS-232 リンク端子

受信機の DVI/RS-232 リンク端子を接続します。

③イーサネット端子

イーサネットデバイスを接続します。10/100BaseT に対応しています。

④電源端子

付属の電源アダプターを接続します。

⑤電源インジケータ

電源が供給されると点灯します。

⑥ DVI 端子

DVI ソース機器を接続します。

⑦ RS-232 端子

RS-232 ホストデバイスを接続します。

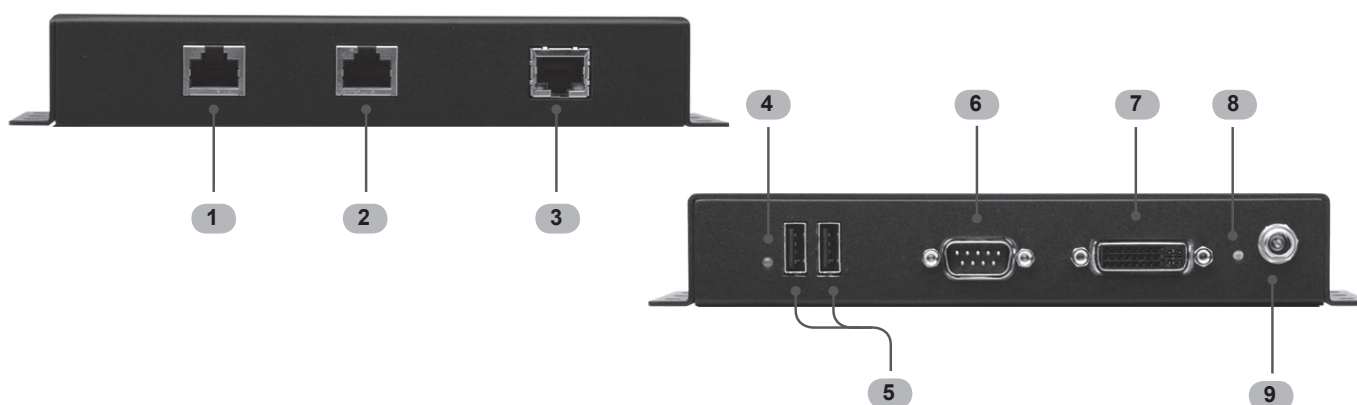
⑧ USB インジケータ

USB デバイスが接続されている時に点灯します。

⑨ USB 端子

コンピューターの USB 端子と接続します。

●受信機



①イーサネット端子

イーサネットデバイスを接続します。10/100BaseT に対応しています。

② DVI/RS-232 リンク端子

送信機の DVI/RS-232 リンク端子を接続します。

③ USB リンク端子

送信機の USB リンク端子を接続します。

④ USB インジケータ

USB デバイスが接続されている時に点灯します。

⑤ USB 端子

USB デバイスを接続します。

⑥ RS-232 端子

RS232 コントロールを行う機器を接続します。

⑦ DVI 端子

DVI 表示機器を接続します。

⑧電源インジケータ

電源が供給されると点灯します。

⑨電源端子

付属の電源アダプターを接続します。

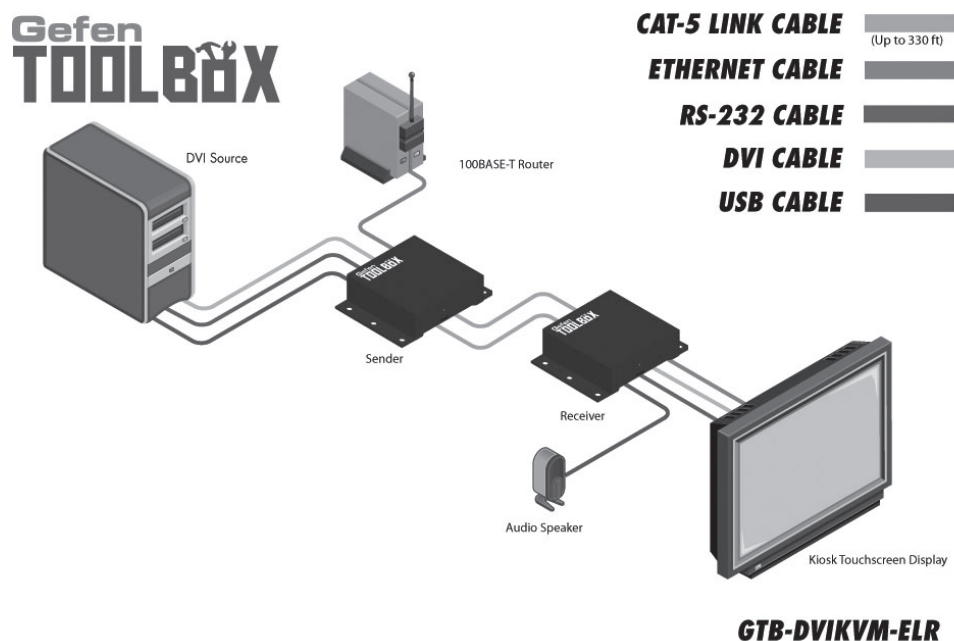
■機器の設置

- ①コンピュータの DVI 端子、USB 端子、RS232 端子からの出力を送信機に接続します。
- ②イーサネットソース機器（ルーターなど）を送信機に接続します。
- ③受信機の DVI 出力端子からの出力を表示機器に接続します。USB、RS-232 デバイスも受信機に接続してください。
- ④表示機器などのデバイスの LAN ポートを受信機に接続します。
- ⑤ CAT5e(CAT6) ケーブルを使用して送信機と受信機を接続します。
- ⑥最後に付属の電源アダプターを送信機と受信機の電源端子に接続します。

※画像が表示されない場合、送信機、受信機に接続している DVI ケーブルを再度接続し直してください。また、伝送ケーブルを交差させて接続していないか確認してください。

※送信機～受信機間の伝送ケーブルにパッチパネルなどを使用しないでください。

※ USB ハブは使用できません。



■ DIP スイッチの設定

送受信機とも底面に DIP スイッチを搭載しています。DIP スイッチを操作することで様々な設定を行えます。

●送信機側の DIP スイッチ

送信機には 2 つの DIP スイッチがあります。

・DIP スイッチ 1：パワーマネージメント

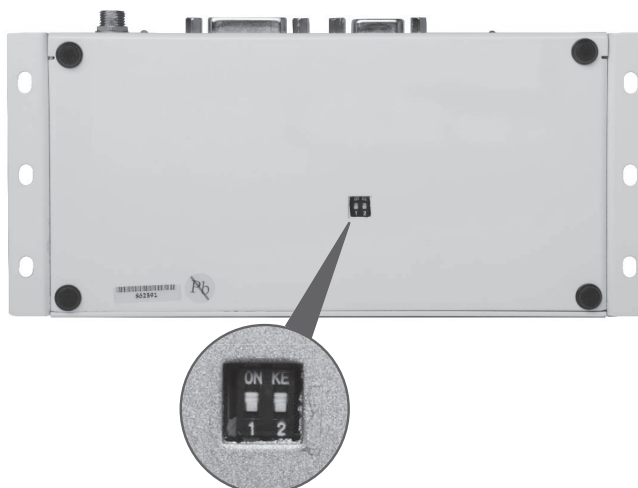
OFF.....グリーンモードを動作。グリーンモードは省電力モードで、ソース機器の電源が切れると本機も自動的に待機状態になります。

ON(出荷時設定)グリーンモードを停止

・DIP スイッチ 2：RS-232 モード

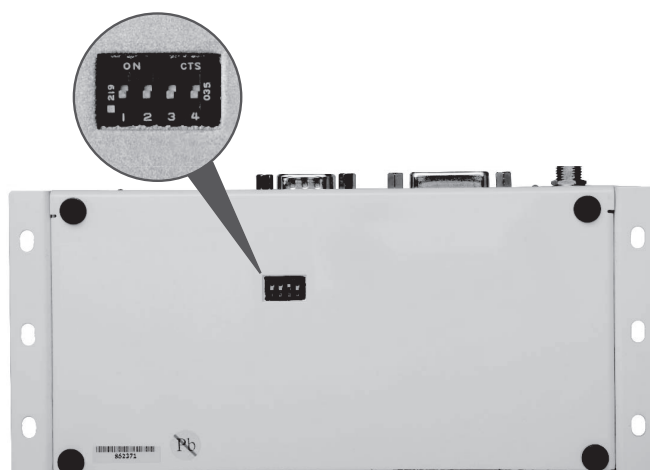
OFF(出荷時設定)...パススルーモード。通常はパススルーモード (=OFF) で使用します。

ONファームウェアアップデートモード。ファームウェアアップデート時に使用します。アップデート中は RS-232 延長ができません。



●受信機側の DIP スイッチ

受信機には 4 つの DIP スイッチがあります。



・DIP スイッチ 1 : EDID モード

ON外部 EDID モードになります。DDC と HPD(Hot Plug Detect) の接続ステータスと表示機器の全ビデオ領域がパススルーされます。HPD ステータスはソース機器により検出されます。

OFF(出荷時設定).....ローカル EDID モードになり、表示機器の代わりに内蔵の EDID を使用します。HDMI 1.3 以降の EDID 機能は表示機器が読み込まれた場合に削除されます。これにより多くのディスプレイに対応した一般的な EDID が使用できます。

・DIP スイッチ 2 : ホットプラグ検出

ONHPD パススルーモードになります。ソース機器方向へのホットプラグ検出 (HPD) に従い、HPD 信号はディスプレイとソース機器との接続状態を反映します。ソース機器または表示機器が切断して再び接続した場合、音声 / 映像のコンテンツが再度ディスプレイに表示されるのに 20 秒から 30 秒の遅れが生じます。

OFF(出荷時設定).....表示機器方向への HPD ステータス (ダウンストリーム) に関わらず、HPD 信号を常時ハイの状態に維持します。ソース機器または表示機器が HPD を適切に取り扱えない場合 (ソース機器やディスプレイの接続後や再接続後)、DIP スイッチを OFF にしてください。このスイッチは DIP スイッチ 1 が OFF の場合に反映されます。

・DIP スイッチ 3 : DVI 接続モード

ON(出荷時設定)DVI 接続を使用する場合は ON にしてください。HDCP パススルーを無効にして DVI をサポートします。

OFF.....HDMI を接続する場合は OFF に設定してください。

・DIP スイッチ 4 : RS-232 モード

ONRS-232 経由で受信機のファームウェアのアップデートを行います。ON にしている場合、RS-232 信号が延長されません。ファームウェアアップデートの詳細は以下を参照してください。

OFF(出荷時設定).....RS-232 パススルーモードになります。RS-232 信号を延長する場合に設定します。通常はこの設定で使用してください。

■ファームウェアアップデート

① RS-232 ケーブルを使用してコンピューターと送信機を接続します。

②送信機の DIP スイッチ 2 を ON にします。

③電源アダプターを送信機に接続します。

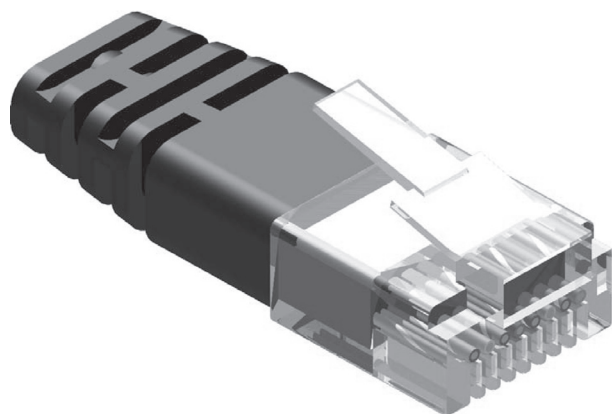
④ファームウェアが保存されたフォルダーを展開し、BAT ファイルを開いてください。開くと以下の表示が現れます。

```
Found sink on port 4
Autodetect platform: full sink
Autodetect platform: spi.
Autodetect size: 128k
Erasing Eeprom...Done.
progress: 100%
Total bytes: 38804. Total time: 99.906000 seconds
Burn succeeded.
Verifying file...
progress: 100%
Total bytes: 38804. Total time: 88.266000 seconds
Verification succeeded!!!
```

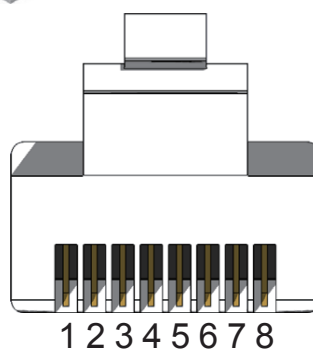
⑤ DIP スイッチ 2 を OFF に戻します。

⑥受信機も同様の手順でアップデートを行ってください。

■ケーブルワイヤリング

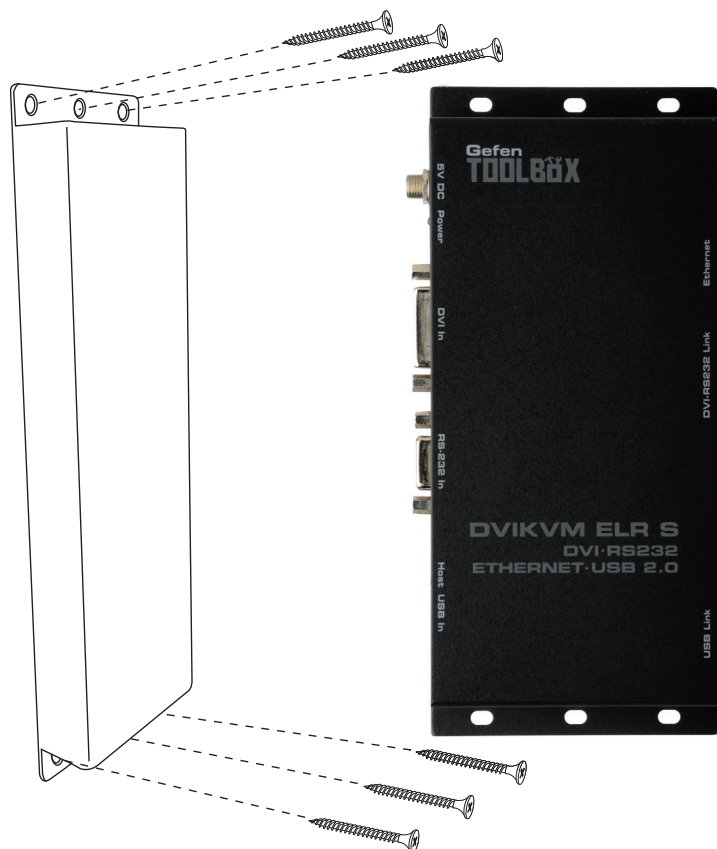


ピン	色
1	オレンジ/白
2	オレンジ
3	緑/白
4	青
5	青/白
6	緑
7	茶/白
8	茶



■壁面取り付け方法

GTB-DVIKVM-ELR-BLK は壁面や木製のキャビネットにネジで取り付け可能です。取り付ける際は 2.5 ~ 5cm 程の余裕をケーブルの抜き差しのために確保してください。



■仕様

ビデオアンプ帯域.....	165MHz
入力ビデオ信号.....	1.2 Vp-p
DDC 入力信号.....	5Vp-p(TTL)
DVI 端子 (送受信機).....	DVI-I 29 ピンメス (DVI-D のみ対応)
USB 端子 (送信機).....	Type B × 1
USB 端子 (受信機).....	Type A × 2
イーサネット端子.....	RJ-45
リンク端子.....	RJ-45
RS-232 端子 (送信機).....	D-Sub9 ピン、メス
RS-232 端子 (受信機).....	D-Sub9 ピン、オス
RS-232 ボーレート.....	19200bps
電源.....	DC5V、最大 10W(送受信機とも)
寸法・質量.....	W248 × H31 × D 86mm、0.2kg (送受信機とも)

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <http://www.hibino-intersound.co.jp/>